

(参考)

※ 当該様式は特に定まっているわけではありませんが、参考のために一つの記載例を示せば、次のとおりです。

「新築又は取得後（増改築等後）直ちに居住の用に供することができない事情及び居住の用に供する予定時期を記載し、かつ住宅用家屋を遅滞なく居住の用に供することを約する書類」

私は、下記1の理由から住宅用家屋を { 新築又は取得
増改築
等 } 後直ちに居住の用に供することができませんが、住宅用家屋を遅滞なく居住の用に供することを約します。

記

1 直ちに居住の用に供することができない理由

具体的に記載してください。

2 住宅用家屋の所在地等

所在地 名古屋市〇〇区□□町△△番地××

建物の種類 居宅 構造 木造 延床面積 120 m²

3 居住の用に供する予定時期

令和 7 年 4 月 10 日

以上

令和 7 年 3 月 1 日

〇〇 税務署長 殿

住所 岐阜市〇〇町△△□□番地××

氏名 〇〇 〇〇

理由書兼確約書

「新築又は取得後（増改築等後）直ちに居住の用に供することができない事情及び居住の用に供する予定時期を記載し、かつ住宅用家屋を遅滞なく居住の用に供することを約する書類」

私は、下記1の理由から住宅用家屋を { 新築又は取得
増改築等 } 後直ちに居住の用に供することができませんが、住宅用家屋を遅滞なく居住の用に供することを約します。

記

1 直ちに居住の用に供することができない理由

2 住宅用家屋の所在地等

所在地 _____

建物の種類 _____ 構造 _____ 延床面積 _____ m²

3 居住の用に供する予定時期

令和_____年_____月_____日

以上

令和_____年_____月_____日

税務署長 殿

住所 _____

氏名 _____